米政府機関「先月は史上最も平均気温が高い１か月」

8/16(金) 13:27配信 TBS

　アメリカの政府機関海洋大気庁は、地球全体でみると、先月(2019.7)が観測史上最も平均気温が高い１か月だったとする報告書を発表しました。

 　ＮＯＡＡ（ノア）＝アメリカ海洋大気庁は１５日、先月の地球全体の平均気温は、２０世紀の７月の平均気温と比較すると０．９５度高い、１６．７度だったと発表しました。これまで最高だった２０１６年を0.03℃上回り、７月としては１８８０年の観測開始以降、最も高い数字です。

 　また、７月は１年のうちで最も気温の高い月とされることから、「史上最も平均気温が高かった１か月」にもなるということです。これによって北極圏と南極でも過去３０年の平均と比べて氷が減少しており、その量は世界で１０番目の国土面積を持つアルジェリアを上回るとしています。北極海では一日当たり10万6000平方の氷が解け、1981～2010の1.2倍の氷が失われた。7月は欧州が熱波に見舞われ、フランス、ドイツ、オランダ等っ広い範囲で40℃を超え、世界各地で記録的な猛暑になった。

 　気温の高い年の上位１０位のうち９つが２００５年以降に集中していて、ＮＯＡＡは「ほぼ完全に地球温暖化の影響によるものだ」としています。（16日06:14）